

～白寿をお祝いしました～



丸田 み江さん
(99歳)

3月20日、丸田み江さん（中央一丁目第一）がめでたく99歳を迎えられ、市から敬老祝金が贈られました。

長年、鮮魚店を営まれ一生懸命働いてきたというみ江さん。長生きの秘訣は、魚をたくさん食べていたこと、粗食であったことだそうです。

これからも元気で過ごしてください。

～長寿をお祝いしました～



布田 たくいさん
(101歳)

3月23日、布田たくいさん（三色吉北）がめでたく誕生日を迎えられ、市から敬老祝金が贈られました。

これからも元気で過ごしてください。



街角
ウオッチング

イベントや身近なできごとを紹介します

取材

夢と希望で胸いっぱい♪

～市内小中学校入学式～

市内小中学校の入学式が小学校は4月8日に、中学校は同月9日にそれぞれ行われ、新入生たちの新たな生活がスタートしました。岩沼小学校では、新入生113人（男54人、女59人）、玉浦中学校では、新入生49人（男26人、女23人）が入学しました。

岩沼小学校では昨年入学した2年生が、鍵盤ハーモニカや縄跳び、けん玉など、1年間の学校生活で学んだことを披露して新入生を歓迎しました。

玉浦中学校では佐藤敏文校長が、在校生の考えたスローガンである「百花繚走（乱）」を紹介し、「一人ひとり、持っている色は違うけれど、全体がまとまればより良い力を発揮できます。このスローガンには、みんなで力を合わせて目標に向かって走っていこうという想いが込められています。新入生の皆さんも力を合わせてより充実した学校生活を送ってください」と話しました。

▶手をつなぎ仲良く入場。これからの学校生活に期待を膨らませ、目を輝かせていました（岩沼小）



▲記念品・祝品の贈呈を受ける新入生（岩沼小）



▲玉浦中新入生代表の菅原すみれさんは「勉強と部活を両立し、充実した中学校生活を送りたい」とあいさつしました



▲(写真左から)桜井消防長、(株)齋藤商会岩沼工場長の長田秋弘氏、朝日化学工業(株)生産管理部岩沼工場長の日下俊幸氏、菅原消防署長

車両火災の拡大を阻止

～消防功労者表彰～

3月18日、消防署で「消防功労者表彰式」が行われ、朝日化学工業株式会社と株式会社齋藤商会に桜井消防長から感謝状などが贈られました。

2月23日12時21分ごろ、市内大昭和地内国道4号上り線で車両火災が発生。発見した両社の従業員が協力して消火栓や消火器を使い、初期消火を行いました。

日頃の訓練の成果が発揮され、火災の拡大を防ぎました。

自分の中の花を育てよう

～平成26年度体力向上事業講話会～

3月17日、岩沼西中学校で「平成26年度体力向上事業講話会」が行われ、村田町出身でスケルトン競技ソチオリンピック日本代表の小室希選手が中学生に向けアドバイスをしました。

小室さんは「今、皆さんは将来に向け種をまき、育てているところです。目の前のことに精一杯取り組み、自分の中の花を育てていってください」と話し、最後には中学生をそりに乗せスケルトンを体験させる場面も見られました。



▲質疑応答では「本番に強くなるためにはどうしたらよいか」など、中学生からの質問がたくさん出されました



▲プロジェクトに参加した大学生、いわぬま森のサポーター、グリーンピア森の散策会の皆さん

千年希望の丘相野釜公園で種まき

～千年希望の丘ハマダイコンプロジェクト～

3月30日、千年希望の丘相野釜公園で「ハマダイコン」の種まきを行いました。このハマダイコンの種子は、宮城農業高校から提供いただいたもので、沿岸部の生育に適し、6月ごろにきれいな花を咲かせます。

当日は、復興支援に取り組んでいる山梨県の健康科学大学の学生やいわぬま森のサポーター、グリーンピア森の散策会など約40人が参加しました。学生らは、このプロジェクトを通して市の復興状況を学びながら、ハマダイコンの成長を願っていました。

さらなる復興と発展を願って

～全国からの応援職員より記念樹の寄贈～

3月23日、平成26年度派遣職員有志の方々が、市に記念樹を寄贈しました。

岩沼市では震災後、全国各地から応援職員の方を派遣いただき、復興への歩みを進めています。同月末に派遣満了を迎える職員もいることから、有志の方々が記念樹の資金を出し合い、菊地市長に目録を贈呈しました。

記念樹は、千年希望の丘1号丘に植えられました。



▲目録を贈呈する派遣職員有志の皆さん